

令和元年第11回大田市教育委員会定例会会議録

令和元年10月30日午後2時、大田市教育委員会事務局において、第11回大田市教育委員会定例会を開催した。

1. 開会及び閉会

開 会 令和元年10月30日 午後2時00分

閉 会 令和元年10月30日 午後3時50分

2. 出席委員の氏名

教育長 船木三紀夫

委 員 竹下ちとせ 仲野義文 梶 伸光 福間信隆 木村貴子

3. 欠席委員の氏名

なし

4. 傍聴人

なし

5. 委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

川島教育部長 森本総務課長 霊山社会教育課長 遠藤石見银山課長

西村山村留学センター長 三谷学校給食センター長 福本学校教育課主査

錦織総務課長補佐

6. 開 会

船木教育長開会を告げ開会

(1) 第10回の会議録について

教 育 長 第10回の会議録について、訂正箇所等あればお願いします。

仲野委員 訂正箇所を発言。

教 育 長 その他訂正箇所等ありませんか。

委 員 (なし)

教 育 長 訂正箇所等を修正のうえ、第10回の議事録については承認とさせていただきます。

(2) 教育長の報告について

教 育 長 経過報告に入ります。9月は月末に定例教育委員会を開催しましたので、今回は10月のみの報告とさせていただきます。

1日、校長会がありました。それから、共同募金の街頭募金がありました。赤い羽根の募金です。私、グッディーの入口の所で募金活動をさせていただきました。

2日、第4回目の公民館体制検討会があり、検討会としての最終の公民館体制案がまとまったところであります。これにつきまして、23日に市長への提言を行っております。検討会の会長さん、また委員の皆さんで、市長に提言書を渡しております。

3日から4日、福井市の方から、国の天然記念物である霰石を大田市に寄附したいということがあり、私と社会教育課の担当者の2名で、福井市に霰石をもらいに行かせていただきました。この霰石につきましては、現在、市長応接室の方に展示してありますが、11月3日の文化祭の時に披露させていただき、その後も、色々、図書館での展示などで活用させていただきたいと思っております。

4日、中学生とその保護者のための大田市内高校合同説明会が、市民会館でありました。参加者が少なく、とても残念でありました。昨年も、夏過ぎにサンレディーで行いましたが、その時も参加者が少ないという状況でした。そこで、この在り方と手法を検討して、来年度に向けて、どういうやり方がベストなのかということも含めて検討していきたいと思っております。

5日、大田市小学校体操競技会が総合体育館でありました。

7日、ふるさと文芸賞の二次審査がありました。最終審査は11月7日に、難波先生と市長と委員の方で行うこととしております。

8日、松江で島根県婦人会実践活動研究集会があり、私が参加しております。また、児童虐待防止研修もありました。

9日、三瓶周辺3校合同植栽活動が三瓶山西の原でありました。素晴らしい天気の下で実施しております。

10日、いじめ防止対策連絡協議会並びに大田市中学校駅伝競走大会がありました。

14日、リレー万葉講演会がありました。

15日、学力育成会議がありました。浜田教育事務所管内の教育長と県の担当者が、全国の学力・学習状況調査の結果を基に、どう対応していくのかということについての協議を行いました。

16日、校長の中間面接を実施しました。21日、24日、29日の4日間で実施しております。

17日と18日、中国地区都市教育長会が、尾道市で開催されましたので、私が参加させていただいております。

17日には、管理職人権・同和問題研修会も開催されております。

18日には、県央地域行政関係者人権・同和問題研修会が開催されております。

19日、石見銀山WAON寄附金の贈呈式を石見銀山資料館の方で行いました。当日は、小雨が降っている中での贈呈式でしたが、その後のクリーン銀山という大森の清掃活動には、たくさんの方に参加いただき、大変盛り上がったと思っております。

また19日と20日に、さんべ祭が三瓶山北の原を中心に開催されております。

20日、MOA美術館作品展の表彰式が、あすてらすで開催されましたので、私が参加させていただいております。

21日、小さな拠点づくり研修会が、市民センターで開催されました。公民館並びにまちづくりセンターの職員が参加する中で、講演を聞き、新たな気持ちになったと思われま。

23日、三市三町教育長会が開催されました。また、先程も言いましたが、公民館体制検討会における市長への提言が行われております。

25日、教育委員の皆さんにも、大変お世話になりましたが、島根県教育研究大田大会が盛大に開催されました。特に、静間小学

校の算数の授業を、記念講演の講師の新井紀子先生が、急遽、見に行かれて、東京の方では味わえない授業を見せてもらって、大変良かったと褒めていただきました。また、記念講演の中でも、そのことを話され、静間小学校の校長先生は大変喜んでおられました。

28日、校長会の要望がありました。学校の管理者としての立場から、施設関係とか人的な関係などの要望を受けたところであり、それから、ユネスコのアジア国際会議の石見銀山視察があり、市長表敬訪問がありました。昨日の島根日日新聞に、その様子が掲載されていたと思います。

本日30日、午後から子ども・子育て支援推進会議が開催されております。

31日、オペラ石見銀山特別公演が、東京文化会館で開催されますので、私が参加する予定であります。それから、島根県中学校駅伝大会が、三瓶のクロスカントリーコースで開催されることとなっております。いい天気にも恵まれて、素晴らしい記録が出ることを祈っております。

以上であります。よろしいでしょうか。

委員 (はい)

(3) 議題

教育長 それでは、議題に入りたいと思います。今回は3件であります。議題第44号学校のあり方に関する基本方針について、総務課より説明をお願いします。

森本課長 資料により説明。
(検討委員会で承認された「学校のあり方に関する基本方針」(案)を提示し、前回と大きく変わったところを説明。また、10月8日から10月21日まで実施したパブリックコメントの結果について説明。)

教育長 若干、変更した所もありますが、何かご意見はございませんか。
竹下委員 資料編について聞きたいことがあります。12ページの「(資料6)小学校校区と中学校校区の状況」のところですが、二つ目の枠の「五十猛小」から始まる場所ですが、その「鳥井小」と「久手小」の人数と学級数が違うと思います。それから、一番下の枠の「温泉津小」の令和元年の人数が「62人」ではなく、「92

- 人」だと思えますが。もう一度、チェックしてみてください。
- 森本課長 はい。もう一度、全部をチェックしたいと思えます。
- 教育長 他にございませんか。
- 梶委員 7ページの図がありますが、矢印が貫いている三つの丸の図形は何を指しているのですか。
- 川島部長 能力を積み重ねていくイメージ的なものと考えていただければ。
- 梶委員 検討委員会でも、何も出なかったのですね。
- 仲野委員 集団という意味合いですか。小さな集団から大きな集団へということでしょうか。
- 川島部長 そのようなことです。
- 梶委員 それから、「高校」の次に「大学・社会人」とあります。細かいことですが、専門学校などもあると思えますが。
- 川島部長 「大学・社会人」の後に「等」を入れたいと思えます。
- 梶委員 この基本方針は、検討委員会を通ったということですよ。この教育委員会を通れば、最終的に出されるということですか。
- 教育長 今日、承認されれば、この表紙の（案）を消します。
- 森本課長 今後のスケジュールについてですが、この基本方針に基づく実施計画の策定に移りたいと思っております。基本的には、これまでの基本方針の検討委員さんに、更に地域の方を加えた形で、少し人数を増やした検討委員会を設置し、来年の3月までのところで4回程度の会議を重ねていきたいと考えております。検討委員会には、事務局案を提示することにより、ご意見をいただきながら、最終的な実施計画として、取りまとめていきたいと考えております。なお、基本方針の際にも、一度、総合教育会議において、市長さんと教育委員さんのご意見をいただきましたが、今後の実施計画策定の際にも、総合教育会議を開催したいと思っております。以上です。
- 川島部長 実施計画につきましては、9ページの「6 その実現に向けて」以降の具体的なものをお示しして、ご審議いただくこととなります。今、事務局案を素案としてこしらえて、検討委員会に図って行きたいと考えております。
- 竹下委員 3ページのところですが、「4 現状と課題」の(1)の最初に「今」とありますが、これはいるのでしょうか。「昨今」とするのか、取るのか。
- 川島部長 普通、「今日」ですよ。 「今」なら、要らないかもしれません。

- 竹下委員 それから、9ページのところの「6 その実現に向けて」の小学校のところの「原則」とありますが、「原則的には」というような言い方の方がいいと思います。
- 教育長 意味が変わる訳ではありませんよね。
- 竹下委員 意味は同じです。
- 梶委員 その下の中学校の段落の表現は、かなり柔らかく、丁寧な説明になりましたね。
- 川島部長 元は、ここに「統合・再編」が載っていましたが、左側にまとめて括ってありますので、「統合・再編」を抜いた形になっております。
- 教育長 小学校も、「原則」という言い方になっておりますので、「統合・再編」が全くない状態ではないということになります。左側にまとめましたので、中学校については、その言葉を改めて書く必要はないということで外しました。
- 川島部長 今度の実施計画の中では、これに基づいて、教育委員会として、具体的にどう考えるかということ、ある程度はお示ししていかないといけないと思っておりますので、その時点では、同じような議論があると思われま。
- 梶委員 13ページの「8 新しいタイプの学校づくり」の中の上から7行目の「従って」からのところが、非常に大事になってくると思います。「望ましい集団としては、統合の方向性も考えるが、地域の持続性によって残すということになると、地域が責任を持って」という辺りが大事になってくると思います。
- 教育長 そこが大事になってきます。
- 梶委員 9ページの「6 その実現に向けて」のところに、「(P13参照)」と書いてありますよね。
- 福間委員 これもですが、色々なことが出てきますが、意外と市民に伝わっていないところがあるという意見があります。「意見交換会等、数回行いました。数年前の意見交換会の時に保護者の方から出た意見や、それに対する意見などの議事録が返ってきません」との意見が出されています。議事録については、ホームページに載っているのでもいいですが、パブリックコメントをした方に対して、何も回答がなかったとの書き振りですが、こうしたものも、やはりオープンにしていく必要があると思います。分かり易くしないと、折角、計画を立てても、計画倒れになってしまいます。

- 教育長 オープンにはしておりますが、何かがある時には、常に情報発信するようにしないといけないと思います。地域も含めて、会議などがある時には、全部は説明できないと思いますが、要点だけでも、「こういうことをしています」ということを説明する必要があると思います。
- 福間委員 会議に出て来る人は、興味があつたり、役をしている人で、そういう人たちには、その場で色々なことを聞いたり、市の思いが伝わったりしていると思います。
- 教育長 学校の関係については、保護者は色々な議論をしていて、特に該当になりそうな学校の保護者は敏感に感じていると思います。保護者間で話をしたり、学校の先生に問い合わせたりと色々な反響はありますが、特に市街地においては関心がないのが実情です。
- 福間委員 結局、親というか大人の考え方を、どういう形で意識させるのかが、一番の問題ではないかなと思います。そういうことが、Ｉターンではないですが、大田市に引き寄せるような材料になる、大田市とはこういうものだとかアピールできるような、そんなシステムができることが大切であると思います。
- 教育長 市長が言われる「共創」という概念、「共に創る」ということが、なかなか浸透していないということで、市長も繰り返して言わないといけないと考えておられます。教育委員会としても、色々な場面を捉えて、発信をしていくということ、根気よくしていかなないと、なかなか難しいと思っています。
- 木村委員 大人が関心を持たないと、ふるさと教育とかも成り立たないと思います。
- 教育長 他にはありませんか。よろしいですか。
- 委員 (はい)
- 教育長 先程のご指摘があつた点については、訂正をして、最終方針とさせていただきます。この(案)を削らせていただきたいと思います。訂正したものについては、資料編も含めて、正式なものを、再度、委員の皆さんに送らせていただきます。
- 川島部長 今、「子ども・子育て支援計画」の第２次計画を作るために会議を行っております。子育て支援課は、どちらかと言うと、保育所関連が中心ですが、保育所の再編について、今後、その体制をどうするのかということ、を議論しています。もう一つには、保育所の建物だけでなく、妊娠から子育てまでの相談体制とか支援体制

の窓口をどうするのかということも、計画の中に盛り込んでおります。教育委員会の方も、幼稚園と保育園の認定こども園の関係を出しておりますし、相談体制の窓口一元化ということも載せていますので、その辺りについて、しっかり整合性を取りながら、やって行きたいと思っております。そのようなことが、今、進んでおりますということをお知らせいたします。

教育長 続きまして、議題第45号平成30年度教育委員会の事務に関する点検・評価について、説明をお願いします。

森本課長 資料により説明。

（「平成30年度教育委員会の事務に関する点検・評価について」(案)を提示し、今回、変更したところを説明。また、外部評価員及び外部評価日程について説明。）

教育長 同じ事業でも、評価がBとCに分かれています。どういうことですか。事業の内容とか取り組みは、全く同じですが。

森本課長 同じ事業で再掲の場合は、教育ビジョンの項目で、出来る限り、その事業の目標に沿った内容のものを記載するように整理しました。そのことによって、評価欄にBとCの違いが出てきている可能性はありますが、整理が仕切れていない面がありましたので、もう一度、確認させてください。

教育長 事業の中に、複数の取り組みがあり、それによって、評価がBとかCに分かれるということですね。それが、分かるような記載をするべきであると思います。

森本課長 出来る限り、その項目で実施した内容を、実績のところに反映させたつもりです。重なる部分が、多々あります。

教育長 もう一度、重複する部分などを整理してください。

川島部長 評価のところ、委員の皆さん、何かありますか。

福間委員 Aの一つくらい何かないのかなと思います。

教育長 学校・教育力向上プロジェクト事業とか小中高魅力化推進事業とかスポーツ関係など、各項目の一つくらいは該当するものがあると思います。

木村委員 一覧表のBのところにも、Cのところにも、『「公民館はまちの力」推進事業』というのが記載されています。

森本課長 再度、整理し、訂正させていただきたいと思っております。訂正し、外部評価員さんに事前にお配りするものと同じものを、委員の皆さんにも送らせていただきます。

- 竹下委員 訂正箇所をお願いします。23ページの上の段の「今後の課題等」の欄ですが、下から3行目の「体制整備が図られるた」の「る」は要らないと思います。
- 教育長 他に何かありませんか。
- 委員 (なし)
- 教育長 続きまして、議題第46号令和2年度予算の申出についてであります。
- 森本課長 この議題につきましては、教育委員さんから、来年度の予算要求に向けて、こうした点に配慮して組み立ててほしいというような提言をいただければと思います。
- 教育長 この議題の趣旨を、委員さんには、事前に伝えてありますか。
- 森本課長 議題としては通知してありますが、中身は説明しておりません。
- 教育長 今、言われても、なかなかご意見は出ませんよね。たぶん、先程の「教育委員会の事務に関する点検・評価について」の中身を見ながら、こんな点に力を入れてほしいとか新しい項目とかが出てくると思われます。11月8日金曜日までに、ペーパーで提出してもらおうということで如何でしょうか。11月の教育委員会で、委員さんからの申出、要望に対する予算要求での取り組みについて、お示しできればと思います。様式については、自由とします。
- 木村委員 例えば、どういう感じなんですか。
- 教育長 昨年で言いますと、先生以外の人配置を考えてほしい、ブロック塀とか遊具の点検、エアコンの問題、スポーツや芸術・文化において一流の人との出会いが大切なので、そのようなイベントで一流の講師を招いていただきたい、学力の向上、図書館の本の充実、全校において図書館司書の充実などの内容のご意見をいただいております。
- 木村委員 要望のような感じですか。このようなことをしたら、もっと良くなるというような。
- 教育長 それが、全部叶うのかというと、予算的なこともありますので、いただいたご意見を加味しながら、工夫しながら、予算を組み立てたいと思っております。
- 竹下委員 その前に質問させていただいてよろしいでしょうか。「点検・評価」のことですが、トイレの洋式化ということで、「ブースから改修する必要がある」との記載がありますが。
- 森本課長 トイレに仕切りがしてありますが、その仕切りの規格が狭過ぎて、

洋式トイレを入れると合わなくなるので、その仕切りから取り換えが必要になるということです。そうすると、これまで3器あったものが、2器しか入れられないという状況になるので、それも含めての検討ということであります。

竹下委員

そういうことなんですね。

それから、「電子教科書の活用」ということが平成30年度の取り組みのところにありました。それはどういうことなのか、電子教科書に取り組んだということが伝わって来なかったのですが、どのように活用されたのですか。

教育長
森本課長

電子教科書を活用している学校がありますか。

英語の電子教科書ということで、ソフトを各校へ配付しております。それも使っただきながら、それだけでは授業が組み立てられませんので、それぞれの先生方が、独自の教材を自主的に作成され、そういうものを活用しながら、授業をしていただいています。

竹下委員
川島部長

これは、全中学校に配付されているということですね。

全ての中学校に英語の電子教科書版を配付しているということです。

木村委員
川島部長

一人一人にということですか。

学級に対してです。教員が教える時に、ALTさんが参加できればいいのですが、全部がそうではないので、操作することにより、教科書に応じたネイティブな発音をしてもらうものです。

木村委員

映像を見ながら学ぶものであって、自分たちで操作しながらするものではないのですね。

川島部長
森本課長

そうです。

タブレットに入れれば、各自で操作できるようになると思いますが、タブレットの配付が出来ていないので、大田市では、そのような活用の仕方が未だ出来ません。

川島部長
森本課長

今は教務用のパソコンに入れて、活用しているということですね。

はい。その通りです。拡大したものを、みんなで見るという状況です。その他、このパッケージものではなく、自前で色々なところから取り寄せて、先生が工夫して作られたものを使っておられるケースもあります。

木村委員
仲野委員

電子教科書といえば、タブレットと思いました。

ちなみに、タブレットは、各学校に、どの程度、配られているの

ですか。先生が使うものとして。

森本課長

タブレット形式のものですが、三中は民間の方で寄附をいただいた中で購入されたと聞いております。教育委員会の方から、単体のタブレットの配付はしておりません。昨年度から、学校のパソコンについては、ウインドウズ10に対応するものに更新しております。その際に、所謂、ノート型ですが、画面だけを外して持って出られるようなツーインワンという仕組みのものを、中学校においては入れておりますので、タブレット的な使い方も出来るように、今、整備を進めているところです。12月から1月のところで、最終的に整備する予定です。その一方で、全てのものを線で繋げる環境ではないということも事実でありますので、Wi-Fi環境などの整備も追い追い進める必要があります。

竹下委員

それから、15ページの体育施設等整備事業ですが、「総合体育館のトレーニング機器が老朽している」ということですが、これは、今あるものを一つ一つ修理しながら、使っていくということなんですか。

霊山課長

昭和57年の建設当時から使っているものもあります。部品がないものについては、計画を立てて、順次、更新をしていくという方向で考えております。

竹下委員

新しい機器で、コンパクトで、経費も安くといった機器に取り換えるとかではありませんか。

霊山課長

今、色々な機器があり、財政的な面で、宝くじ助成とか補助金を使おうと思えば、100万円以上のものが該当になります。ですから、今ある機器よりも、更にバージョンアップして機能的にいいものであれば、それは補助金が出て、更新が出来ます。やはり、総合体育館には、先進事例も見ながら、計画立てて、新しいものを考えてほしいとお願いしております。今あるものを更新しても、時代に合っていないところもありますので。

川島部長

総合体育館は、施設としては都市計画課、中の機器は教育委員会なんですね。

霊山課長

備品は、うち（文化・スポーツ推進室）です。

川島部長

機器に対する財源が、なかなか無くて難しい現状です。

竹下委員

24ページの山村留学推進事業の今後の課題等のところに、「短期留学などの自然体験活動を実施する際のボランティアの確保」と書いてありますが、今、ボランティアはどういう人がされてい

るのですか。

西村センター長

2種類ありまして、一つは、子どもたちと寝食を共にする役割の人、もう一つは、もっと下支えする人、例えば、掃除であったりと、その2種類があります。子どもたちと、直接、寝食を共にして活動するのは、大学生以上の方が望ましいため、学生さんが、一応、ターゲットです。下支えの方は、一応、高校生からお願いしております。そういうのが、大きな枠です。その上で、例えば、市民の方とか社会人の方も、手伝いたいという方は、是非とも、来てくださいとは言っております。3年前から、まちセンとか公民館を通じて、色々と話に行っておりますが、なかなか、そういった市民の方の参画はない状況です。

竹下委員

やはり、県大生とか島大生とか、そういう人なんですね。

西村センター長

長期留学をしていたOBとか短期留学で高校生になった人にも、DMを出して、その人たちが、今は何とか遣り繰りしながら来てくれておりますが、大学生以上になると、アルバイトをしたり、大学でのカリキュラムが変わって、ゼミなどの関係で、学生さん自体、時間がない状況となっておりますので、(人探しに)四苦八苦しております。

竹下委員

このボランティアというのは、有償ではなく、無償のボランティアなんですか。

西村センター長

本当に薄謝程度のものです。リーダーの大学生は、今年から1日3千円です。スタッフの高校生などは、図書カードで1日5百円程度です。本当に、謝金というよりも薄謝という形です。勿論、往復の旅費とか宿泊費、食費などは無料です。とにかく、ボランティア精神という大きな理念の下で、協力していただいております。

川島部長

今、スタッフは、邇摩高の生徒とか大田高の生徒が何人か来ていましたよね。

西村センター長

来てはいますが、例えば、夏休みの時はいいが、今回、冬休みは補習が入るので難しいといったところですね。高校生も大学生も、特に大田高校は難しくなりました。

教育長

これについては、中身を再点検いただき、来週の金曜日までに、令和2年度予算に関する意見について、お願いしたいと思います。これについては、よろしいでしょうか。

委員

(はい)

教育長 続きまして、その他の報告に入らせていただきます。まず、全国植樹祭関連行事について、説明をお願いします。

森本課長 資料No.1の写真により説明。

(10月9日に行われた三瓶周辺の3校合同学習による植栽活動について報告。また、この活動に合わせて、昨年度、みどりの募金事業で作製した植物保護活動に係る看板を三瓶山西の原に設置したことを報告。)

教育長 この報告については、よろしいですか。

委員 (はい)

教育長 続きまして、公民館体制検討・提言について、説明をお願いします。

霊山課長 資料No.2により説明。

(10月23日に、公民館体制検討会の天野座長より、市長に提言書を手渡したこと、提言書における要点、今後の展望について説明。)

教育長 公民館の組織と申しますか、仕組みについては、小さな拠点ごとにあるべきだということになりました。今は、各地域にまちづくりセンターがありますので、そのまちづくりセンターとの協議が必要になってくるということもあり、その辺は、お互いに、十分な協議を行いながら、体制を組んでいくということにしております。提言書に基づいて、まちづくり定住課の方も、時期はずれましたが、動いてくれるようになりましてので、お互いに、協議しながら、進めて行きたいと思っております。委員の皆さんには、逐次、進捗状況について、報告させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

提言書については、よろしいでしょうか。

委員 (はい)

教育長 これで、議題及び報告については、全て終了しました。

最後に一点ほど、報告しておきます。教育委員の皆さんも、ご存知であると思いますが、今、島根県の方が、来年度予算に向けて、財源的に大変苦しいということで、教育の関係では、少人数学級、また学校図書館司書の関係の予算の見直しを行うことになっております。島根県の独自の特長ある教育として少人数学級というものがありますが、それを見直しするということになると、県が進めて来た内容にも関わらず、各末端の状況も把握せず、そのよう

なことがあってはならないということで、都市教育長会、町村教育長会、教育委員会連合会などの団体をもって、近いうちに、知事、県議会議長と県の教育長に要望書を提出したいと思っております。まだ、日程的には決まっておきませんが、お知らせしておきます。

森本課長 今年度も、市内の小中学生が、全国の中で活躍するケースが出てきました。11月26日から27日にかけて、東京で開催されます中学校英語弁論大会に、大田一中の生徒が出場することになりました。25日には、市長に表敬訪問する予定です。それから、12月14日から15日にかけて、沖縄で開催されます全国育樹祭に、みどりの少年団の全国表彰ということで、高山小学校が該当し、出席する予定です。更に、明けて3月末に、全日本少年春季軟式野球大会が開催されます。これは、一昨年、大田二中が準優勝した大会です。3月20日から24日に開催されるこの大会に、大田二中が出場することとなりました。以上、報告とさせていただきます。

教育長 他に何かございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

委員 (はい)

教育長 次回の定例会は、教育委員の皆さんの日程上、11月26日火曜日の午後2時からということで、よろしく願いいたします。

以上をもって委員会を閉会した。

以上の会議録は、前回の会議録として承認を終了した。

令和元年11月26日

作成者 総務課長補佐 錦織 勉

以上の会議録は、前回の会議録として承認を終了した。

令和元年11月26日

教育長 船木三紀夫

委員 竹下 ちとせ

委員 仲野 義文

委員 梶 伸光

委員 福間 信隆

委員 木村 貴子